

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 2月17日

事業所名 こどもくらぶガジュマ〜ル

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	8	1	0		適切に配置しております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2	1		現在は対象児童がおりませんが、対象児童が通所する際は事前に施設内環境を確認し、検討して行く必要があると認識しております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2	0		より良い業務へと繋げていくために、PDCAサイクルを意識して取り組めるよう仕組み作りを考えております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	2	0		今後もより良い取り組みと、改善に努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	0		事業所内の連絡網にて公開の情報をお伝えしております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1	0		管理者が他関係者より評価を頂き業務の改善につとめております。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	2	0		コロナとインフルエンザも落ち着いてきましたので、研修の機会を幅広く作っていきたく考えております。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0		より子ども達の思いを拾い上げれるよう子ども会議を設けております。対象児童を取り巻く全ての人で(保護者さま・学校・事業所・相談員さま等)三位一体できめ細やかなアセスメントが大切だと感じております。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	3	0		子どもの帝王行動のアセスメントや、五領域を踏まえたアセスメントへ変更して参りたいと思っております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	0		今後も各職員の得意な事を子ども達の活動プログラムへと取り入れながら社会生活の幅を広げてまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	1	0		日々子ども達の変化に重きを置いて対応しております。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	2	0		今後も子ども達ひとり一人の成長に合わせてバランス良く活動を提供していくことを踏まえ計画作成に努めてまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	0		普段より意識して共有しておりますが改善の余地がありましたら職員みんなで考えてまいりたいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1	0		職員全体で検討し、必要に応じて見直しながら、その判断を行い、より良い支援に繋がっていくことが大切だと認識しております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	1	0		ガイドラインに記されているとおり当事業所では総合的な活動支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5	0		現在、対象となる医療ケア児童がいらっしゃらないため連携を図っておりませんが、その際は主治医などと連携して支援していくことが重要だと考えております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	4	0		対象児童がいないために連携を図っておりませんが、今後必要に応じて連携していきたいと考えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2	0		今後も療育支援の質の向上を心がけ可能な限り参加していきたいとおもいます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	2	0		児童館や体育館、公園活動など、その場に居合わせた児童との活動の機会がありますが、障害のある、なしに関わらず一緒に活動できる機会を設けていきたいと考えており、児童家庭課を通じてその思いを伝えており実現できるよう考えてまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	2	0		エリアマネージャーが参加しており、今後も地域との連携も意識して努めてまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	0		学校からの連絡事項はもちろん保護者様との情報共有と課題や対応に関してその都度共通理解を心がけています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	4	0		ペアトレは行えておりませんが、保護者さまの思いをしっかりと受け止め、保護者さまへと伝えるように言葉も配慮しながら助言をおこなっております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	0		当事業所を利用される前にしっかりと説明を行い、ご不明な点があった際にも随時対応しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	0		時には、先輩保護者さまからの声を事例として、悩みや思いをしっかりと受け止め、保護者さまへと伝えるように言葉も配慮しながら助言や可能な限りの支援をおこなえるよう心がけて対応しております。

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	4	0	コロナやインフルエンザ警報など実施できない状況でありましたが、来月をめどに実施の計画をしております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1	0	現段階では苦情は届いておりませんが、苦情が出た際には迅速に職員同士で共有・対応をおこない、苦情になる前に保護者様から相談してもらえるよう普段から関係性を築いていけるよう心がけております。また、苦情解決セミナーへの職員参加も予定しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	0	会報などの等の発行はしてはおりませんが、毎年障がい者月間にパネル展示を行ったり普段より保護者さまへとLINEをととして連絡体制や情報の発信をおこなっております。
	35	個人情報に十分注意している	8	1	0	特に写真の取扱いに関しては、その都度確認作業を行うなど十分配慮しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	2	0	情報の伝達方法に関しては、その子に合った方法で、保護者様へも伝達の方法や、対応時間、言葉の配慮を心がけております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	3	0	招待する事は行ってはおりませんが、少しばかりですが地域の活動へと募金を行ったり、地域の方の収穫体験をさせていただき(謝礼も含め)地域に根ざした事業所作りをこころがけております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	2	0	各マニュアルは作成されておりますが、保護者様への周知が出来ておらず今後は保護者会などとおして発信してまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	1	0	年に2回、総合防災訓練を実施しております。高台に避難したり、不審者対策を今後も定期的に実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	虐待防止委員会を設置し、担当委員を配置しております。年に1回は虐待委員会を開催しております。必要に応じて開催し、今後も虐待研修を継続して開催して参ります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	0	対象となる利用者様がおきませんが、身体拘束化マニュアルを作成し、委員会設置しております。必要な状況がありましたら、鋭意状況確認しながら、保護者様とともに連携を図りながら計画して参りたいと考えております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	0	保護者様の手作り弁当や持参のおやつ対応をしております。対象となる児童に対しては保護者様へ確認しながら対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	0	ヒヤリハットを記載するように意識し、共有できるように意識しています。